

運協ニュース

2021年12月15日
NO.297
千葉運輸協議会

責光 井石 発石

2021年度千葉運協定期委員会開催

運協定期委員会を開催

一二月七日地本会議室において

コロナ感染症拡大を考慮して短時間で集中した議論

座長には、佐倉分会の並木委員を選出し、議事が進められた。

来賓では地本から、越川副委員長を招き、情勢報告とこの間の取り組みなど挨拶を頂いた。

石井議長は「今日まで様々な施策をとられてきた。入場券の問題やマルス設置がない駅での取扱い方の変更等、お客様に対しては公平さに欠ける、社員には業務量の拡大等。設備についても、経費節減と称し性能の下がった設備への変更がされている。窓口が減

を求めた。



委員からの発言

蘇我運輸区分会

・分会員は十名だが集会は月一回開催・分会ニュースを発行している。
・足元を見て意識を持って行動している。

・食事時間は個人差があるが常識の範疇で作業ダイヤに要求。
・組合だけでなく職場全体の意見を繁榮させる為、他労組・未加入者を巻き込む運動。

・殺傷事件に対し組合は会社に見解を言うてほしい。

木更津分会
・公共交通対策で毎月集会開催、上総地区協議会を発足し久留里線存続の取り組み。

・お客様サポートシステム「導入をJESSS千葉は紙切れ一枚で伝達。臨機応変な遠隔はしない、労働条件に関わるが交渉できる

仕組みが必要。

佐倉分会

・二年間でコロナを悪化した施策がとられ要員削減がされている。
・経費節減で灰皿やゴミ箱の撤去をし、結果としてCTSのパート切りになっている。

鴨川運輸区
・ワンマン化後旅客からは意見が上がっている。

・女性社員が入るのか組合に情報があるか？
成田分会
・十一月一日窓口閉鎖となった。話せる券売機を導入し、切符の買い方のわからない人にはオペレーターが対応している。

・ニューデイズ・CTS・観光協会との意見交換があった。観光協会から何故窓口が無くなったのか意見があった。観光協会に客から話がよくあるらしい。

・作業ダイヤに企画業務。現場長は超勤を減らしたいらしい。若い社員の仕事に対する考え方にも変化が。

両国分会
・窓口閉鎖は、駅ねつとにシフトしていくのか？
内容がよくわからない。

・亀戸東口・両国駅東口の終日遠隔に伴い不正が目立つ、改札口の強行突破。

・無人化対策で顔認証システムの導入は出来ないものか。以上

新任
安田正浩副議長
太田久市会計監査員
宜しく申し上げます。

退任
太田国和副議長
北浦幹司会計監査員
今まで有難う御座いました。